

# 特別支援教育推進研究

## 1 はじめに

市では、令和3年3月に「下野市特別支援教育推進計画（第二次）」を策定し、インクルーシブ教育システムを推進している。インクルーシブ教育が目指すものは、障がいのある子どもと障がいのない子どもが「同じ場で共に学ぶことを追及するとともに、個別のニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを提供すること」（H24.7.23 中央教育審議会初等中等分科会報告より）である。障がいのある子どもが、他の子どもと共に平等に教育を受けるために、適切な変更・調整を行うことが重要であり、合理的配慮はその要と言える。

そこで、障がいのある児童生徒が、合理的配慮があることによって、障がいのない児童生徒と同じ学習環境で共に学ぶことが可能となる事例やツールをまとめることにより、学校での合理的配慮を提供する上で参考としていただきたいと考えた。

## 2 研究内容

合理的配慮の事例やツールの作成

## 3 研究の実践

研究では、困難さに応じた合理的配慮の事例やツールを研究してまとめることにより、小・中・義務教育学校の全ての学級において、全ての教員が活用できるようにする。（次ページより掲載）

○各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する合理的配慮の例

（各教科学習指導要領解説より）

	児童生徒の状況	合理的配慮の例
国語科	・文章を目で追いながら音読することが難しい。	・教科書の文を指等で押さえながら読むよう促すこと、行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意する、語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意する、読む部分だけが見える自助具（スリット等）を活用するなど。
社会科	・社会的事象に興味・関心がもてない。	・その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の営みと身近な生活がつながっていることを実感できるように、特別活動などと関連付け、具体的な体験や作業などを取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるように配慮する。
算数・数学科	・空間図形のもつ性質を理解することが難しい。	・空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取図や展開図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。
理科	・実験の手順や方法を理解することが困難である。	・学習の見通しがもてるよう、実験の目的を明示したり、実験の手順や方法を視覚的に表したプリント等を掲示したり、配付したりする。
外国語活動・外国語	・音声を聞き取ることが難しい。	・外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるよう、リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ、音の強弱を手を上下に動かして表すなどの配慮をする。

※次ページからの合理的配慮のデータは、WinBird 文書フォルダ 160 特別支援教育に入っておりますのでご活用下さい。

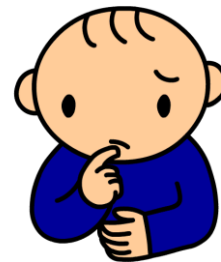
# 1 登校することが難しいAさん



Aさんは、特に理由はありませんがなかなか登校することができず、登校しても教室に入ることができません。集団での活動が難しく、保健室で過ごす時間も多くなっています。少しでも学校に足が向き、登校できる時間を増やしたいと考えています。どうしたらよいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎人が自分のことをどう見ているか気になるな。
- ◎コミュニケーションをとるのに自信がないな。
- ◎勉強が難しくて授業についていけないか心配だな。



## ○人の目を気にせず過ごせる場所を用意する

・気兼ねなくゆっくり、自分のペースで学習できるようにする。（様々なタイプの人と関われるように空き時間の先生などを配置するとよい。）

合理的配慮・具体的な支援（例）

### 登校日誌

登校日誌		
月	日（ ）	天気（ ）
登校時間（ 時 分）		
取り組んだこと		
*		
*		
今日の日記		担任から
下校時間（ 時 分）		

### 具体的な使い方

- ・登校した時間を記入
- ・取り組むことを記入
- ・下校するときに振り返りを記入
- ・下校時間を記入
- ・ファイルに綴り担任に提出
- ・担任はコメントを記入

### 登校日誌

- ・「受け身」ではなく自主性を重んじることができる。
- ・「学校は安心できる場所」「自分は見守られている」という思いをもつことができる。
- ・担任がコメントを書くことにより、次へのステップにつなげることができる。
- ・ファイルを見直し、がんばった自分を実感することができる。

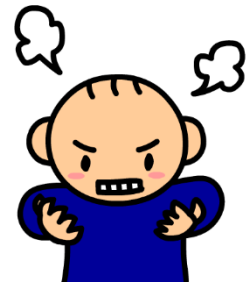
## 2 感情の起伏が激しくキレやすいBさん



Bさんは些細なことにも腹を立てやすく、友だちや教師に対して暴言や時には暴力を振るってしまうことがあります。そのような状態になると切り替えが難しく、なかなか冷静な状態に戻ることができません。どうしたらよいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎気持ちが高ぶると周りが見えなくなってしまうんだ。
- ◎自分の気持ちをわかってもらいたいけど、どうすればいいかわからないんだ。
- ◎本当は友だちや先生と仲良く楽しくしたいのにな。



### ○指導がうまくいったときの言葉掛けや状況をメモしておく

・関わりのポイントを短い言葉でまとめる。（他の先生が読むときに役立つように、誰でも対応できるよう具体的であるとよい。）

合理的配慮・具体的な支援（例）

### オーダーメイド マニュアル

場面	教師の手だて	生徒の反応	ポイント

年 組( ) 月 日記入者( )

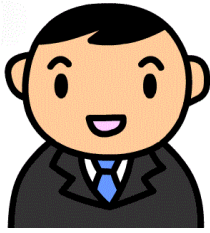
[オーダーメイドマニュアル](#)

### 具体的な使い方

- ・ A 4 半分程度に指導がうまくいったときの「関わった場面」「教師の関わり」「子どもの反応」「ポイント」を記入。
- ・ 記入者名を記入。
- ・ A 5 版のクリアブックなどに綴っておく。
- ・ 必要に応じて差し替える。

- ・ プラスの関わりのヒント集になる。
- ・ どの様に関わると落ち着くか分かりやすい。
- ・ 子どもの素顔が見えて温かい気持ちで見守ることができる。
- ・ 誰でもすぐ手にとって見ることができる。

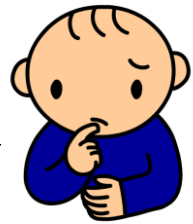
### 3 整理整頓が苦手なCさん（小学校）



Cさんは、片付けや整理整頓が苦手で、机の上や周りに物がちらかっています。机の中やロッカーもぐちゃぐちゃになっていることが多いため、なくし物や忘れ物が頻繁にあります。一つ一つ言葉かけをすれば片付けることができますが、「片付けましょう」と言われると何をどうしてよいのかわからなくなってしまい、「できない」「面倒くさい」と言って、うまく片付けることができません。どうしたらいいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎片付け方や整理の仕方がよくわからないな。
- ◎途中でまわりが気になってしまって、最後まで片付けられないな。
- ◎今使うものと、使い終わったものとの区別が難しいな。



合理的配慮  
具体的な支援例

#### ○「何を」「どこに」「どのように」片付けるのか、型を決める。

- ・ロッカーや机の中、道具箱の入れ方がわかる写真や絵を貼っておく。
- ・片付ける場所に、文字・図・写真・色などで目印をつける。

#### ○片付けがしやすい場を用意する。

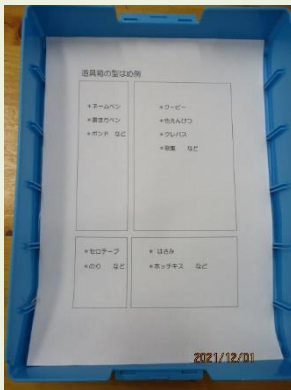
- ・使い終わったものを入れるかごや袋を用意したり、机をもう一台つなげてスペースを広く使ったりする。
- ・みんなが使うものは、入れる場所が分かるようにラベルを貼る。

#### ○整理整頓の意識化を図る。

- ・不要なものは、なるべくこまめにしまうよう授業の要所で、一斉から個別に言葉かけをする。（配布物については、どのようにしたらよいか具体的に伝え、見届ける。）

#### ○学級全体で取り組む。

- ・学級全体で持ち物整理の日や整頓タイムを設け、みんなで整理整頓を意識させる。



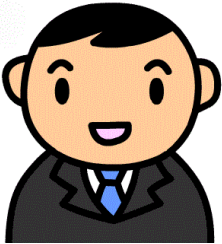
道具箱の整理

・写真や仕切りを利用し、すきまは表示以外の物を入れる。  
・小さな物や折り紙などは、チャック付きビニール袋に入れる。



片付けの場所

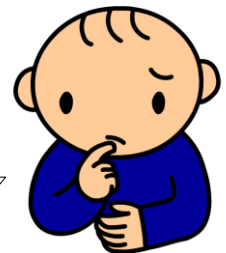
## 4 整理整頓が苦手なDさん（中学校）



Dさんは、片付けや整理整頓が苦手で、机やかばんの中にプリントがぐじゃぐじゃに入っています。中学校では、教科ごとの授業でたくさんのプリントが配布されます。机やかばんの中に次々と物を入れてしまうので、必要な物が取り出せず、慌てたり行動が遅れがちになってしまったりします。また、机やロッカーの中うまく整理できず、周りに物が散らかっています。「片付けましょう」の言葉かけには、何をどうしてよいのかわからなくなって困ってしまうようです。どうしたらいいでしょうか。

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎片付け方や整理の仕方をうまくイメージできないな。
- ◎しまった場所や使った場所を覚えていないから、必要な物を探しているうちに、更に散らかってしまうんだ。
- ◎片付ける習慣が身に付いていないし、片付けにあまり意識が向いていないんだ。



合理的配慮・具体的な支援（例）

### ○整理しやすい環境をつくる。

- ・片付ける場所に、文字・図・写真・色などで目印をつける。
- ・時間割の教科と教科書・ノート・資料集等に同色のシールやテープを貼ったり、マジックで色を塗ったりする。

### ○学級全体で取り組む。

- ・学級全体で持ち物整理の日や整頓タイムを設け、みんなで整理整頓を意識させる。
- ・片付け方が分かるように具体的な言葉かけをする。

### ○整理整頓の意識化を図る。

- ・不要なものは、なるべくこまめにしまうよう授業の要所で、一斉や個別に言葉かけをする。（配布物については、どのようにしたらよいか具体的に伝え、見届ける。）



分かりやすく整理する方法

時間割の教科と教科書・ノート・資料集等に同色のシールやテープを貼ったり、マジックで色を塗ったりすることで、教科で使うものが分かりやすい。

## 5 活動の見通しをもつことが苦手なEさん



Eさんは、先生の話聞いても、何をやるのか理解するのが難しく、学習に取り組んだり、活動に参加したりすることに遅れが見られます。少しでも、学習や活動の内容を理解し、見通しをもてるようにしたいと考えています。どうしたらよいでしょうか？

どうしてそうなるの？  
(考えられること)

- ◎先生の話していることが途中から分からなくなっちゃったな。
- ◎このあと、何をやって、どうすればいいだろう。
- ◎何をやっていいのか分からなくて、心配だな。



合理的配慮・具体的な支援(例)

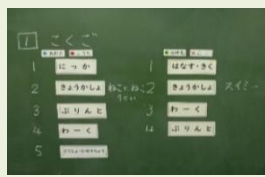
### ○活動や学習の流れを順番に提示する。

- ・1日の流れ、学習活動の流れ、行事での活動の流れ

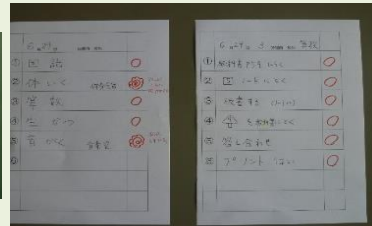
・提示する場所や内容は、児童の実態に合わせて取り入れる。



教科の提示



学習内容の提示



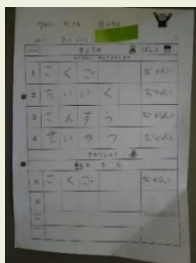
流れの提示表



行事の流れ

### ○活動の流れを確認する。

- ・個別に、日課表に記入したり、日課ボードに貼り付けたりする。



日課表



日課ボード

・教科のカードを貼ったり、書いたりすることで、流れを確認しやすくなる。

### ○活動の流れを振り返り、評価し、称賛する。



## 6 教師の指示が通りにくいFさん



Fさんは、一斉指示を聞いても、内容を理解することが苦手です。そのため、集団行動では、指示したことと異なる行動をしてしまうことも多くなっています。指示した内容を理解して、少しでも学習や活動に参加できるようにしてほしいと考えています。どうしたらよいでしょうか？

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎先生が言っていることが早くて分からない。
- ◎あっ、外の天気がいいな～。あっちから何か聞こえる。周りが気になっちゃう。
- ◎あれっ、さっき言っていたこと何(なん)だったっけ？



合理的配慮・具体的な支援(例)

○教師の指示を具体的に一つ一つ端的に行う。活動の順序を伝える。

・「1 目当てを確認します」「2 ○○を音読します」「1確認」「2音読」

○大切なことを繰り返し伝え、確認する。

○集中できる教室環境にする。

・例 シンプルな黒板や教室掲示、座席の位置、落ち着いた色合いに

○視覚支援の活用

・例 板書で示す、支援カードの活用



黒板に



・キーリングを付けて



・言葉とともに、イラスト等を示すと分かりやすい。

色と関連させて



日付・曜日の札

○視覚支援用のイラストサイト 表情や動作のイラスト（一部除く）



ドロップス（視覚シンボル） ドロップレットプロジェクト

[https://droptalk.net/?page\\_id=116](https://droptalk.net/?page_id=116)



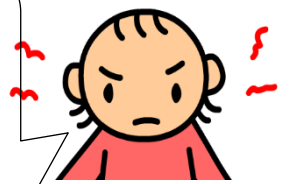
## 7 教室で落ち着いて活動できないGさん



Gさんは、みんなと一緒に落ち着いて学習したり、生活したりすることが苦手です。気分がのらなると、離席をしたり、教室から飛び出してしまうりしてしまいます。少しでも、みんなと一緒に楽しく生活できたらと思っています。どうしたらよいのでしょうか？

どうしてそうなるの？（考えられること）

- ◎多くの友達（刺激）がいて、何か落ち着かないんだよな。（聴覚過敏 ①）
- ◎周りのことが気になっちゃう。（視覚刺激 ②）
- ◎やることが分からないし、やりたくない。  
（見通しのもちにくさ ③ こだわり ④）
- ◎座っているのがつらい。イライラするし、どこか落ち着く所に行きたい。帰りたい。（多動性 ⑤）



合理的配慮・具体的な支援（例）

### ○集中できる教室環境にする（①、②）

- ・例 シンプルな黒板や教室掲示、座席の位置、落ち着いた色合いに

### ○活動の流れを伝える。教師の指示を具体的に一つ一つ端的に行う（①、③、④）

- ・例 活動の内容、順番、「1 目当てを確認します」「2 ○○を音読します」

### ○大切なことを繰り返し伝え、確認する（③）

### ○視覚支援の活用（③）

- ・例 板書で示す。支援カードの活用

### ○課題の量を調整する（③、④）

- ・児童の状況を見て

### ○落ち着ける環境や活動を取り入れてクールダウン（①、②、⑤）

- ・仕切りを使って、別の教室などで
- ・自分の落ち着ける活動



- ・クールダウンの時間や活動内容等の約束事を必ず確認しておく。変更する際も児童に確認をする。
- ・周りの児童にも配慮することも必要である。